



八 剣 山 通 信



第74号

八 剣 山 発 見 隊
2008年7月7日 発行

7月6日(日) 「いちごの苗床の整理体験」を実施しました。

【行事の概要】

昨年の秋に、いちごの苗を畑にすじ状に植え付けましたが、5月には小さく白い花が咲きはじめました。

6月の中ごろからは赤く熟したいちごが、畑のあちこちで見られるようになり、下旬に入ると八剣山周辺の果樹園では、果物としては今年初めての収穫の楽しみである、いちご狩りが始まりました。

毎週土曜日や日曜日には、小さい子を連れたご家族や友達で、町内会や職場の方の親睦の場として、そしてカップルのデートスポットとして、たくさんの皆さんが、八剣山周辺のいちご畑を訪れ、真っ赤に熟して甘くおいしくなったいちごを、お腹いっぱいになるまで楽しんでいました。

7月に入り日ざしが1年で一番強い季節になると、いちごの収穫も、これまでの大きくて甘かったいちごが、そろそろ終わりに近づいたように小さくなってきます。

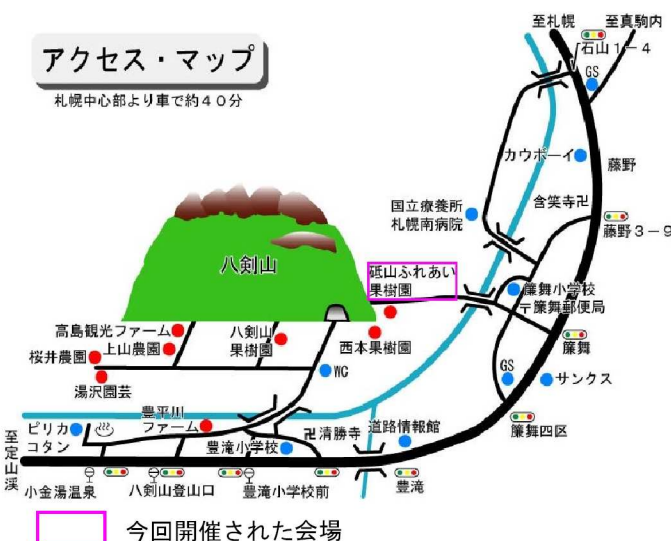
今回は一般のお客様に開放しているいちご狩りが終了する7月6日の午後、砥山ふれあい果樹園の瀬戸さんのご協力により、八剣山発見隊の隊員の皆さんに限定したいちご狩りを楽しんでいただきます。

このいちご狩りと平行し、来年のいちごの収穫を行うための作業として、いちご畑の苗床の整理を実施します。

いちご狩りが終了したとは言え、いちご畑にはたくさんのいちごが残されています。これらのいちごを隊員の皆さんにお腹いっぱい楽しんでいただくとともに、13日に実施する「2008 八剣山さくらんぼ祭り」で販売するいちごの飲み物の原料としても利用します。

・主 催 : 八剣山発見隊

【今回の行事開催場所】



【行事の感想】

6月の下旬から、多くの皆さんが八剣山周辺の果樹園に来ていちご狩りを楽しんでいました。7月に入っても、畑のいちごの苗には、まだまだ皆さんのいちごが付けてはいますが、季節も終盤になったためか、いちごは甘いのですが小さいいちごが多く、また腐れも目立ってきたようです。

今回は、午前中までいちご狩りのために来場者に開放していた畑を隊員の皆さんに開放し、残されたいちごを収穫するとともに、苗床の整理も実施しました。

植えられた苗に沿うように、また葉の陰に隠れるように熟したいちごがたくさん残っており、それを少しずつ味わいながら、手持ちのカゴに収穫していきました。

2時間ほどいちごの収穫と苗床の整理を行いました。14人ほどで26kgのいちごと、おみやげ用のいちごを収穫することができました。

今回の行事で収穫したいちごについては13日の八剣山さくらんぼ祭りにおいて、つぶして牛乳などと混ぜて飲みものとして販売するため、小分けにしてビニール袋に入れて保存することとしました。



【いちごの収穫と苗床の整理】

【今後の行事予定】

- ・ 7月13日 2008 八剣山さくらんぼ祭り
- ・ 21日 北海道森林スポーツフェスタ2008 in 定山溪

発行 : 八剣山発見隊 (事務局長 瀬戸 修一)

061-2275 札幌市南区砥山84番地
TEL&FAX 011-596-2694
E-mail setsyujp@ybb.ne.jp
http://www.hakkenzan.com/

いちごの苗床の整理体験



【咲きはじめていたちごの花】



【赤く甘く熟したちごの実】



【6月の休日のいちご畑】



【収穫されたいちご】



【収穫されたいちごの選別】



【いちごジュースの製造】

